

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	機能性構音障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 水曜1, 2限	教室名	4校舎301教室
担 当 教 員	藤原 百合	実務経験とその関連資格	大阪府済生会中津病院および広島大学病院に言語聴覚士として勤務。主業務は構音障害、摂食嚥下障害に対する言語聴覚療法を行っていた。			
《授業科目における学習内容》						
<p>正常な発話のメカニズムや発達を理解し、構音障害をきたす原因や関連要因について学ぶ。発達途上に起こる機能性構音障害について、鑑別診断、評価方法、指導方法について学ぶ。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>本間慎治編著 改定機能性構音障害 建帛社</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>指定した教科書を事前に読んでおくこと</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>構音障害の治療は患者さんに即した創意工夫が必要です。自ら考える態度を養いましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常な発話のメカニズムを理解する	DVD目で見える日本語音の産生		
		各コマにおける授業予定	発話の4つのプロセス:呼吸・発声・共鳴・構音について、内視鏡やエレクトロバトグラフィなどの画像を供覧し、説明する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	話ことばの発達を理解する			
		各コマにおける授業予定	誕生から就学前までのことばの発達過程と、その間に見られる発達途上の音の誤りについて説明する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音障害の原因や関連要因を理解する			
		各コマにおける授業予定	構音障害を起こす器質性・運動障害性の原因がないにもかかわらず発現する機能性構音障害の鑑別診断について説明する			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日本語の語音と音声表記について学ぶ			
		各コマにおける授業予定	音声学の知識を基盤として、聴覚的印象をIPA表記する練習を行う			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音評価の目的や方法について学ぶ	新版構音検査		
		各コマにおける授業予定	新版構音検査法について、その目的や検査項目を説明する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	構音検査を模擬的に実施できる	症例ビデオ	
		各コマにおける授業予定	実際の症例ビデオを視聴し、構音検査の演習を行う		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音以外の検査について理解する		
		各コマにおける授業予定	発声発語器官の形態と機能の評価、構音に影響を及ぼす聴覚や発達のスクリーニングについて説明する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能性構音障害に見られる誤り音の種類を理解する		
		各コマにおける授業予定	機能性構音障害にみられる特異な構音操作(口蓋化構音、側音化構音、鼻咽腔構音)の説明をする。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤り音の聴覚的評価ができる	CD口蓋裂の構音障害	
		各コマにおける授業予定	実際の症例の音声を聴取し、構音障害の種類を判定する演習を行う		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	訓練の適応、開始時期について理解する。語音聴き取り訓練について理解できる		
		各コマにおける授業予定	機能性構音障害のある児に、いつからどのような介入をするか説明する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	音の産生訓練について理解できる		
		各コマにおける授業予定	誤り音を適正音に導く方法について説明する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	系統的構音訓練および家族指導について理解する		
		各コマにおける授業予定	適正な音の産生から般化に向けた系統的訓練について説明し、いかに家族の協力を得るか遠隔指導の方法も含めて説明する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例を用いて実際の介入方法について理解する		
		各コマにおける授業予定	教科書の第6章症例①②③		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例を用いて実際の介入方法について理解する		
		各コマにおける授業予定	教科書の第6章症例③④		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ		
		各コマにおける授業予定	国家試験の過去問		